



やまと温泉「ゆりの郷」 経営提案

訪れる人を癒し、地域と歩み続ける観光拠点として



令和7年10月28日

01. これまでの運営実績

2000年7月に開業した「やさと温泉ゆりの郷」。地域の方々の健康増進を目的に運営を開始し、地域と歩む温浴施設としてこれまで延べ415万人を超える方々にご利用いただいています。

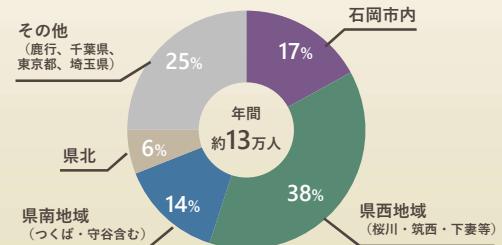
累計利用者数の推移

開館6年目に100万人を達成。その後も順調に来館者数を伸ばし、累計400万人を超えるお客様にお越しいただいています。コロナ禍では来館者数は減少しつつも、その後順調に回復し高い人気を誇っています。



利用者の内訳

年間利用者は約13万人ほど。関東を中心に県内外の幅広い地域よりご来館いただいています。筑波山と並ぶ観光拠点として、地域交流や観光振興に貢献しています。



当方ならではの運営

「地産地消」の推進

開業以来、「食」に真摯に向き合う当方の運営はゆりの郷の大きな魅力になっています。当方では産直事業を半世紀にわたり展開し、生産者、消費者のみなさま双方との対話を続けてきました。この経験を活かし、御食事処では地元の新鮮な食材を利用した料理を提供。「地産地消」活動を通じて石岡市の「食」の豊かさを伝え続けています。



02. 経営基盤の安定性

当方の持つ盤石な財務基盤と、これまで「ゆりの郷」が築き上げてきた健全な収益構造で、今後も安定した施設経営が可能です。

本事業を支える盤石な基盤

- 当方は、金融・共済から営農・生活指導に至るまで、地元住民の暮らしに関わる全ての事業を手がける総合事業体です。
- 多角的で地域に深く根差した事業構造により、現在の総資産537億円（現金および預金が403億円以上）、純資産19億円（令和7年1月期）という盤石な財務状況を実現しています。

総資産

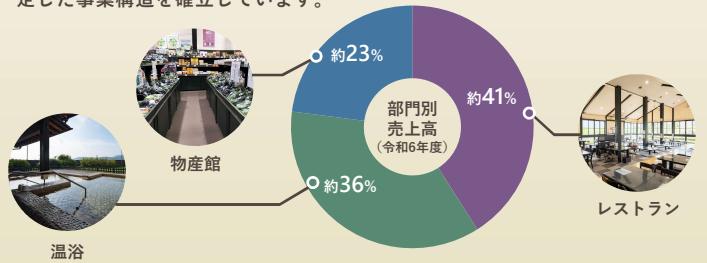
537 億円

純資産

19 億円

「ゆりの郷」の確かな収益力

- ゆりの郷は着実な成果を上げており、直近の決算（R6年度）では、利益として約1,319万円を計上し、確かな収益力を証明しています。
- また、3つのサービスを柱とした極めてバランスの取れた収益構造になっており、「温浴」「レストラン」「物産館」の各部門が相互に連携しながら安定した事業構造を確立しています。



人的資源の安定性「経験豊かな人材と地域に根ざした雇用」と運営

ゆりの郷では現在、地域雇用をメインとした従業員が、それぞれの持ち場で活躍しています。スタッフ一人ひとりが安心して長く働き続けられることがお客様への最良のサービスに直結すると考えます。そのためにも、当方が地域に根ざした安定雇用を継続し、ゆりの郷を発展させてまいります。



03. 収支計画

これまで築き上げてきた健全な収益基盤を土台に、施設の魅力を最大化させるための投資を実行し、収益拡大を目指します。

改修と更新に向けた戦略的投資と資金計画

今回の施設改修およびサービス更新にあたっては、当方が自らの資金により、当初総額5,000万円の投資の実施を予定しています。改修後の成果目標も設定しており、各改修において5年間での投資額回収を見込んでいます。

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
● リニューアル開始				● 売上3.9億円見込み
		● 売上増見込み		● 年間利用者数15万人達成
				● 投資回収

改修後を見据えた具体的な収益展望

施設更新によりさらに魅力的となるゆりの郷とともに、私たちは実施後5年間で利用者数を年間+2万人、年間売上高を4億円へと引き上げることを目標とします。



現状の収益基盤

ゆりの郷はオープン以来安定した事業運営を継続しており、直近の決算（R6年度）では年間売上高約3億807万円、経常利益1,319万円を達成しております。今後はこの収益力をもとに施設への改修と更新を行い、よりご愛顧をいただける施設を目指します。

04. 事業内容と今後の改修計画

事業内容

単なる温浴施設の枠を越え、豊かな自然に囲まれた癒しの空間で

贅沢な一日を過ごしていただける場として多彩なサービスを提供しております。

◇◇ 温泉の話 ◇◇

自然の雄大さを肌に感じ、癒される。ゆりの郷の自慢の環境を最大限に活かした温泉です。地下1300mからくみあげた源泉による、心安らぐ2つのお風呂をご利用いただいている。サウナや露天風呂、景観など、それぞれのお風呂で異なる魅力を備え「また来なくなる」温泉として愛されています。



◇◇ 食へのこだわり ◇◇

良質な泉質を誇る内湯や露天風呂に加えて、ゆりの郷の大きな魅力が「食」です。館内レストランでは当方の強みを最大限に活かし、地元で採れた新鮮な有機野菜や旬の食材をふんだんに使用した料理を提供しています。物産館では「石岡セレクト認証品」をはじめとする地域の特産品を豊富に取り揃え、お土産としてもご好評いただいている。



リニューアル計画（顧客満足度の向上と新たな顧客層の獲得を目指し、以下のリニューアルを予定しています。）

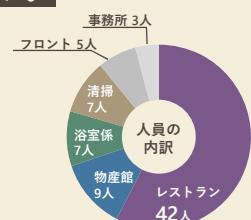
露天風呂	①万葉側の露天床の拡張：雄大な筑波山をワイドに望める開放感あふれる露天風呂へと生まれ変わります。入浴体験の価値向上とともに、施設の新たな魅力として集客のフックとなることを見込んでいます。
お食事処	②新たなオーダーシステムやドリンクバーの導入：利便性およびサービス品質の向上を目指します。 ③サラダバーの新設、有機野菜を取り入れたメニュー拡充：当方直営ならではの新鮮な地元野菜を今まで以上にお楽しみいただけます。 ④座敷席をテーブル席へ変更：幅広いお客様に対応し、より快適にご利用いただける空間作りを行います。
物産館	⑤セルフレジの導入：利便性向上とともに会計時の待ち時間を短縮します。 ⑥有機野菜や旬の果物の品揃え充実 ⑦「石岡セレクト認証品」の販売強化：物産館の魅力向上により、満足度および売上の向上を目指します。
EV（電気自動車） 充電設備の設置	⑧新たな顧客層であるEVユーザーの獲得に繋げ、充電時間を施設での滞在時間として有効活用していただくことで、飲食・物販部門の売上増加も見込んでいます。

05. 運営体制

お客様がいつも快適かつ安全に施設をご利用いただけることを大切に、適切な人員配置や全従業員を対象とした研修の実施、法令遵守の徹底などきめ細かな運営体制を構築していきます。

◇◇ 人員配置 ◇◇

現在ゆりの郷は、職員4名、パート・アルバイト職員70名の総勢74名体制で運営されております。お客様をお迎えするフロントから、お食事処、清潔な環境を維持する清掃に至るまで、各部門に適切な人員を配置し、質の高いサービスを提供しています。従業員は、地域の皆様を積極的に雇用し地域経済の活性化にも貢献しています。



◇◇ サービス品質を支える教育・研修体制◇◇

法令遵守から実践的なスキルまで、多岐にわたる研修を定期的に実施しています。

コンプライアンス研修（年1回）

全従業員を対象に、個人情報の取り扱いやハラスメント防止、ルールや接客マナーのアップデートを徹底します。

防災訓練

万一の事態に備え、お客様の安全を最優先に的確な誘導・避難が行えるよう、実践的な訓練を定期的に実施します。



安全・安心を約束する法令遵守と有資格者体制

施設運営にかかる各種法令を遵守し、お客様と従業員の安全を確保するため、以下の許認可の取得および有資格者の常駐を計画しています。

さらに産業医による定期的な訪問を受け、職場環境の維持改善と従業員の健康管理に努めています。

保有 許認可

- ◆ 公衆浴場営業許可証
- ◆ 食品営業許可証（飲食店、そうざい・弁当）
- ◆ 酒類販売許可証、塩指定販売店契約者証

常駐する 主な有資格 者

- ◆ 食品衛生責任者、食品表示品質管理者、防火管理者 → お客様の安全確保
- ◆ 安全運転管理者 → 従業員とお客様の安全確保
- ◆ 労務管理士 → 適切な労働環境の維持 ◆ 野菜ソムリエ→美味しい野菜の提案

06. 情報発信と集客施策

主要な情報発信ツールとしてInstagramやLINEと連動し運用しています。

投稿にあたっては、施設のイベント情報はもちろんのこと、お客様が「いま、ゆりの郷で体験できること」がリアルに伝わる鮮度の高いコンテンツ発信を心がけています。

◆◆ 主な投稿内容 ◆◆

イベント情報	季節ごとのイベントや キャンペーンの告知
施設の魅力紹介	施設内のお知らせ、 こだわりの新メニューなど

投稿を通じて、
お客様の「行ってみたい」という
気持ちを醸成しています。

※画像は左から順に以下に関する投稿です。

「期間限定デザート」「七夕」「ひまわりの種まき」「物産館」

数値で見るInstagramの効果と今後の展望

平均リーチ数 (投稿が届いた人数)	約50件	◆ エンゲージメント率（投稿への反応率）は10%と高く、少數ながらもファンとの深い関係性が築けていることがわかります。
平均エンゲージメント数 (いいね・コメント等の反応)	約5件	◆ 今後もファンベースを強化し、ハッシュタグ「#ゆりの郷」を活用したキャンペーンの実施や、お客様による投稿の紹介などを通じて、新規フォロワーの獲得とリーチ拡大を目指します。

07. 地域貢献の取り組み

事業活動を通じて地域に貢献することは私たちの使命と考えています。

経済的な側面に留まらず、地域の安全と暮らしや人々のつながりを守る具体的な取り組みをご紹介します。

A

地域の「食」を支える 経済貢献

- ◆ 当方の強みを活かし、物産館で販売またはレストランで使用する果物については、100%地元産にこだわります。野菜に関しては、年間を通して野菜の地元産比率を高くキープし、旬の時期には地元産の比率を最大限に高めています。
- ◆ さらに長ネギなどは通年で地元産を使用するなど、地産地消をベースに運営を行います。



B

「もしも」の時に備える、 地域の安全拠点として

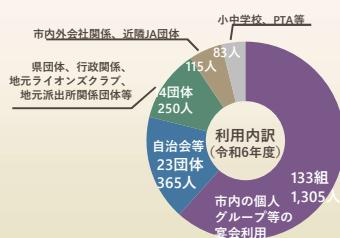
- ◆ 東日本大震災において当地域は震度6強の揺れに見舞われましたが、強固な岩盤に支えられ、建物本体はわずかな隙間ができた程度で、1,300mの温泉井戸はまったく影響ありませんでした。県内の他の温泉施設が長期休館を余儀なくされる中、いち早く入浴提供を再開きました。
- ◆ 今後起りうる災害時にも「食」そして「温かい温泉」を提供し、地域の方々の心と体を癒す臨時の避難所としての役割を担えると考えております。高齢化が進むこの地域において、これからも安全な暮らしに寄り添う拠点であり続けます。



C

世代をつなぐ、 地域の交流拠点として

- ◆ 当館は地域の方々が集う重要な交流拠点としての役割を担っています。令和6年度には、自治会や個人グループ、地元団体など、延べ2,100名を超える皆様に宴会・会合の場としての利用を計画しています。



積極的な地域との連携

- ・ 中学校の体験学習の受け入れ
- ・ 小学校の社会科見学の受け入れ（コロナ禍以前）
- ・ 農機具メーカーと連携し「女性のための草刈り機講習会」を開催するなど、地域のニーズに応えるユニークなイベントを開催



08. 観光振興と広域連携への取り組み

積極的に周辺の観光施設と連携し、地域全体の周遊促進と経済活性化に貢献します。

[現在実施している近隣施設との連携]

お客様の利便性を高める送迎サービスを軸に、相互の施設利用を促進しています。

花やさと山（グランピング施設）との連携

フラワーパークに隣接するグランピング施設の利用者が、当館の温泉入浴と夕食のセットプランを希望された場合、専用の送迎サービスを提供していきます。

観光バスの積極的な誘致

団体旅行の重要な受け皿となるべく、主にフラワーパークからの導線を軸に観光バスの誘致を行っていきます。お食事処は団体のお客様にも対応していきます。

観光果樹組合との提携強化

季節ごとの果物狩りを楽しむ観光客に対し、ゆりの郷での食事割引券を配布するなど、相互誘客を行っていきます。

つくばねオートキャンプ場を始め管内施設との連携

キャンプ場利用者のうち、温泉入浴や食事を希望される方に対し送迎サービスを実施。こちらも「アウトドア+温泉」という人気の高い観光スタイルをサポートし、新たな顧客層の獲得に繋げていきます。これらに加え、近隣キャンプ場とも同様の連携を検討しており、今後さらに連携の輪を広げていく計画です。

上曾トンネル開通による誘客

上曾トンネル開通により管内利用客が大変増えました。近隣果樹園・農園と連系し、積極的に誘客に取り組みます。



今後の構想



地域の観光資源が有機的に結びついた観光ネットワークの形成を考えています。
登山やハイキング、ドライブを楽しむお客様が、その一日の締めくくりに当館で汗を流し、
食事と疲れを癒す…といった、シームレスな観光体験を提案してまいります。



09. まとめと将来への展望

ゆりの郷が未来へつなぐ、ぬくもりの輪。

私たちは、これまで築き上げてきた「安定した経営基盤」を土台とし、未来に向けて
「地域社会への貢献」と「より愛される施設運営」を力強く推進していくことをお約束いたします。

